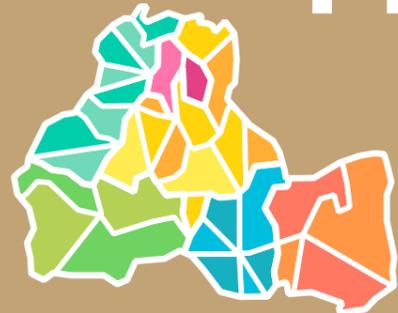


多文化共生社会の未来へ

ステインドグラス豊岡



公益財団法人
かめのり財団
Kamenori The Kamenori Foundation

公益財団法人かめのり財団
「2025年度多文化共生ネットワーク支援事業」助成

MEMBER

河本美代子

にほんごぶらす代表、日本語教師有資格者

秋山陽子

自営業、にほんごクロフネ講師、日本語教師有資格者

佐藤令奈

豊岡市地域おこし協力隊、
認定NPO法人カタリバ
外国ルーツの高校生支援プロジェクト業務委託STAFF、
中高教諭一種免許状(英語)保持

菅めぐみ

会社員、日本語教師有資格者、ベトナム人配偶者

森歩

日本語教師有資格者、NPO法人たけのかそく

bozzo

舞台写真家、グラフィックデザイナー

HOME PAGE



MAIL

t.stainedglass@gmail.com

事業協力機関

豊岡市役所 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
神戸大学大学院人文学研究科 社会学教室
(研究代表 准教授 佐々木 祐)
豊岡市商工会議所 & 豊岡市商工会
一般社団法人豊岡市国際交流協会
近畿大学付属豊岡高校 (講座実施場所提供)

OUTCOME

企業を耕し、地域を耕し、互いの文化を認め、外国人も活躍でき、長期的に住みやすくなる豊岡市へ。

外国人
ひとりひとりの

個の人生をどこまでも尊重できる社会へ。

課題

2024年現在の外国人数

1,175人 人口比率 1.55%

-  1. ベトナム
-  2. フィリピン
-  3. インドネシア
-  4. ネパール

企業や支援者間の
連携が乏しく、
知見やノウハウが
共有されにくい。

外国人労働者が
地域社会とつながる
機会が少なく、
孤立しがち。

地域のこれからを
担う若い世代が、
多文化にふれる
機会や理解を深める
きっかけがまだ少ない。

多文化共生の取り組みが
一過性で終わらず、
持続的に機能する
仕組みが求められている。

OUTPUT01

ネットワークづくり



プラットフォームの構築

企業の外国人支援担当者や行政・地域の支援者をつなぐネットワークを立ち上げ、主にオンラインで情報発信・共有できる仕組みをつくります。

地域につながるお手伝い

生活情報や防災情報などを企業を通じて外国人にも届ける体制を整え、地域イベントや暮らしへの参加機会を広げます。外国人も「地域の一員」として活躍できる環境を目指します。

HOME PAGE

随時更新中!

OUTPUT02

外国人雇用 事例集作成



ケーススタディの共有へ

外国人労働者を受け入れている企業を訪問し、取り組みの背景や課題、工夫や成果について丁寧にヒアリングします。

雇用者だけでなく、外国人もインタビューし、これから外国人雇用を考えている企業の参考となる冊子を目指します。

冊子が地域の多文化理解を深めるものとなるよう、写真やデザインにも工夫を凝らします。

→ 事例集の存在が、「多文化共生」形成の橋渡しに。

OUTPUT03

高校生の多文化理解講座



次世代への多文化共生教育

近畿大学付属豊岡高校の2年生を対象に、外国人との出会いや交流の場を意識的に設け、共に働き暮らす未来を見据えた多文化共生への理解を育む取り組みを行います。

学校や地域社会と連携し、
国際理解教育・多文化教育の
きっかけを提供します。

3月13日 1330-1630

@豊岡市役所稽古堂 3F

成果報告交流会

本事業の成果発表として、
完成した事例集を企業に配布する
タイミングに、関わった人たちを
集めた交流会を開く。

基調講演 / **安里和晃**

(京都大学文学研究科准教授)

対象者(数) /
外国人を雇用してる企業支援者、
企業で働く外国人、高校生
興味関心のある市民など。

文化も背景も異なる人々が、
それぞれの色を持ったまま
共に暮らす地域。



この名前には、
そんな願いを込めています。

多様性を受け入れ、
互いを理解し合うことで、
すべての人が安心して
暮らせるまちへ。

本事業を通じて、
まずは豊岡の足元から、
持続可能な多文化共生の
土台を育てていきます。

誰もが光輝く豊岡市へ!

2026年へ